資料　3

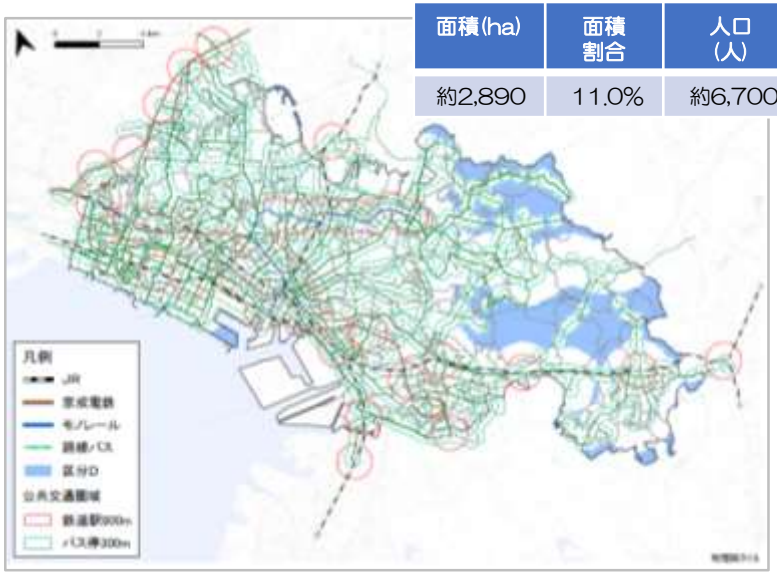
緑区高津戸町でのデマンド型交通の社会実験実施に向けた事業者公募について

目次

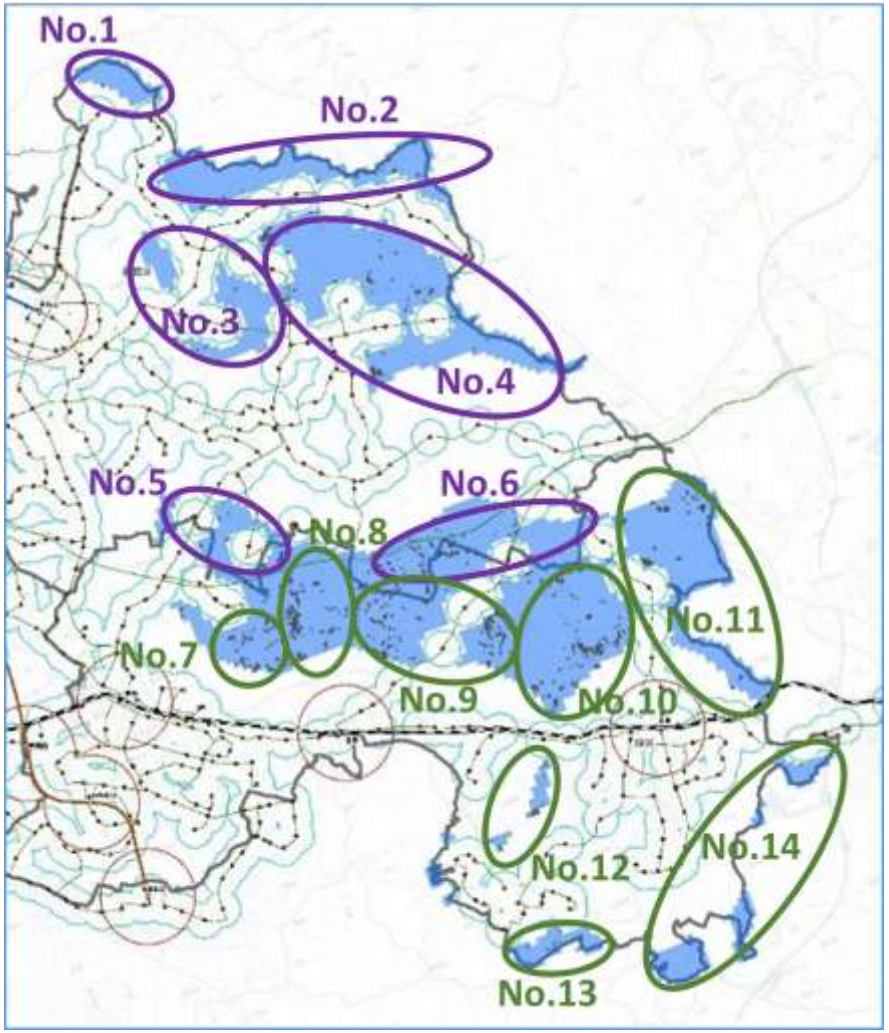
1. 公共交通不便地域での取組みの経緯
2. 社会実験の運行計画案
3. 利用意向アンケート結果
4. 公募評価基準案
5. 今後のスケジュール

1．公共交通不便地域での取組みの経緯

第４回千葉市地域公共交通活性化協議会（令和３年２月１日開催）
公共交通不便地域における施策検討に向けた取組として、“高津戸町北部等”をモデルに地域の実情等の把握に着手することを決定。



面積(ha)	面積割合	人口(人)	人口割合
約2,890	11.0%	約6,700	0.7%



	人口（人）	面積（㎢）
No.1（旦谷町等）	約10人	約0.6㎢
No.2（小間子町等）	約80人	約2.5㎢
No.3（御殿町等）	約70人	約1.3㎢
No.4（富田町等）	約340人	約5.1㎢
No.5（佐和町等）	約120人	約0.8㎢
No.6（野呂町等）	約580人	約2.7㎢

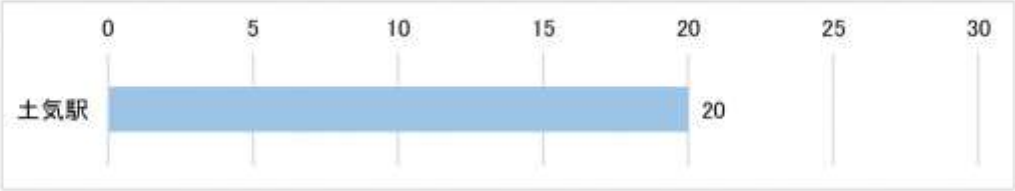
	人口	面積
No.7（平山町等）	約760人	約1.3㎢
No.8（高田町）	約870人	約1.4㎢
No.9（平川町等）	約1,400人	約4.3㎢
No.10（高津戸町等）	約1,600人	約3.3㎢
No.11（下大和田町等）	約300人	約3.3㎢
No.12（越智町）	約350人	約0.3㎢
No.13（大木戸町等）	約200人	約0.7㎢
No.14（小食土町等）	約20人	約1.2㎢

1．公共交通不便地域での取組みの経緯

○対象エリアの人口規模（エリア内の人口総数、65歳以上の人口など）及び最寄りの鉄軌道駅までの距離の視点から、地域の実態を把握するためのワークショップ等を実施する候補地をNo.10（緑区高津戸町北部等）とした。

①地域の概要

地域概要	・JR 外房線土気駅の北部、緑区と若葉区の境の丘陵地に位置する。 ・丘陵地のため、駅近傍以外は幹線道路を中心に人口が分散して立地。 ・土気駅、誉田駅から路線バスが地区内に運行しているが、運行本数は少ない。
人口の状況	・人口総数：約 1,600 人　・65 歳以上人口数：約 560 人　・65 歳以上人口比率：約 35.0% ・面積：3.3km2　・可住地面積：1.3km2　・可住地の人口密度：約 1,215 人/km2
最寄り駅	・駅名：JR 土気駅　・地域からの距離：概ね 2～3km ・地域住民の主な利用駅　→アンケート結果より JR 土気駅の利用が多く見受けられる。



②周辺の路線バスの運行状況

運行本数	・当地域の周辺を運行するバスは、土気駅、誉田駅と地域を結ぶ千葉中線となる。 ・誉田駅方面は運行本数が極めて少なく、土気駅方面は 1 時間 1 本弱の運行となる。

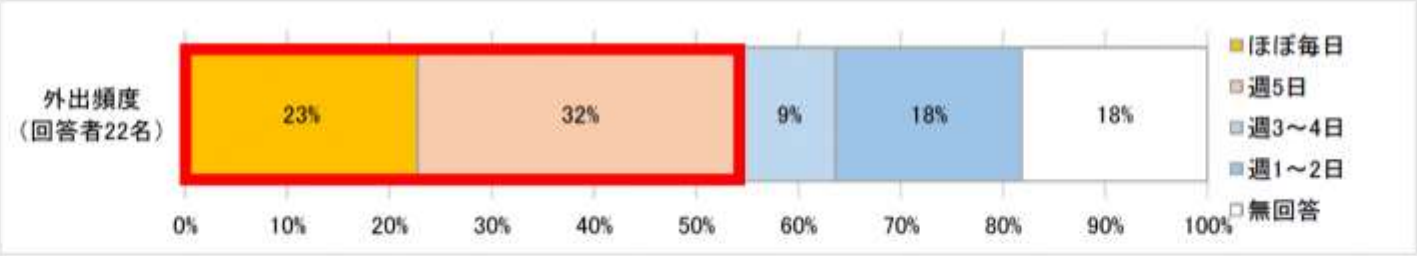
路線名	事業者	方面	行き先	朝 6～8時台	午前中 9～11時台	午後 12～15時台	夕方 16～17時台	夜 18時台～	計
千葉中線	千葉中央バス	地域方面	大椎台団地	2	0	2	1	0	5
		駅方面	誉田駅北口	1	0	1	1	0	3
千葉中線	千葉中央バス	地域方面	千葉中	1	0	3	1	2	7
		駅方面	大椎台団地	3	0	3	2	2	10

1．公共交通不便地域での取組みの経緯

③外出の状況、公共交通の利用状況、満足度（アンケート結果）

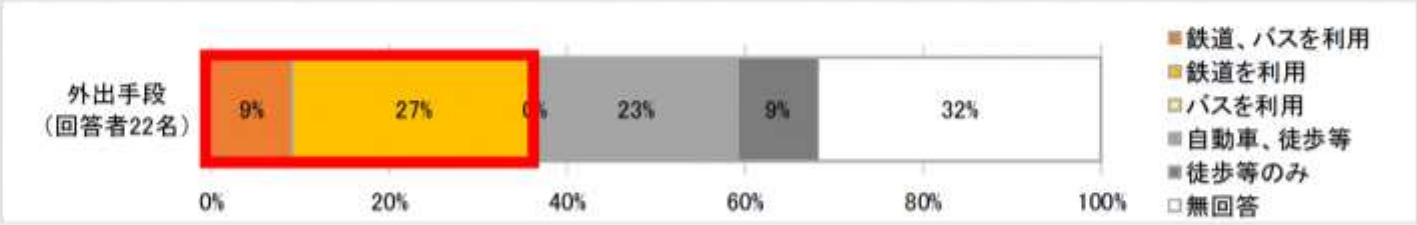
外出頻度

・回答者の５割以上の方が、週に５日以上外出している。



外出手段

・回答者の４割程度の方が、鉄道やバスを選択している。



満足度

・鉄道以外は不満・やや不満が満足・やや満足を上回っている。

	鉄道	路線バス	タクシー	公共交通全体
満足・やや満足	50%	14%	5%	14%
不満・やや不満	27%	55%	55%	36%

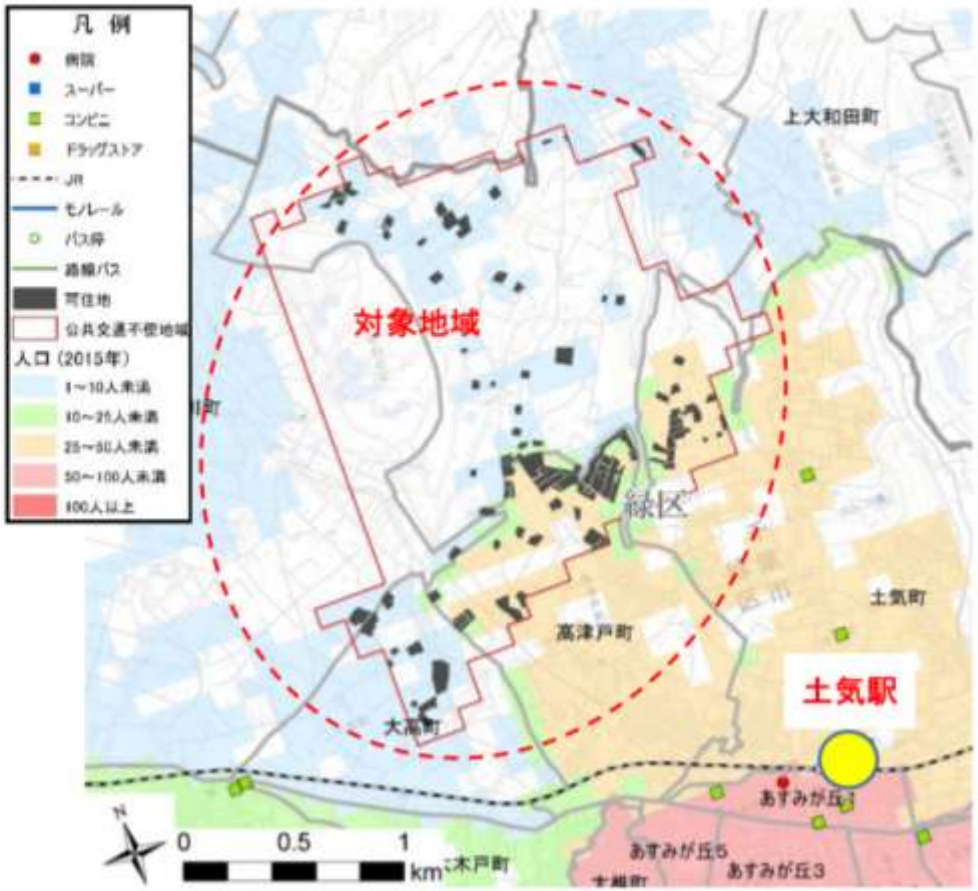
1．公共交通不便地域での取組みの経緯

④人口分布、施設分布、周辺の路線バス網

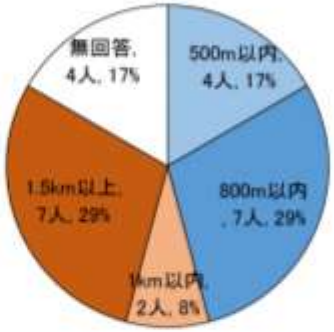
人口分布等

・地域全域に人口が薄く分散している。駅周辺と比較すると人口密度が少ない。

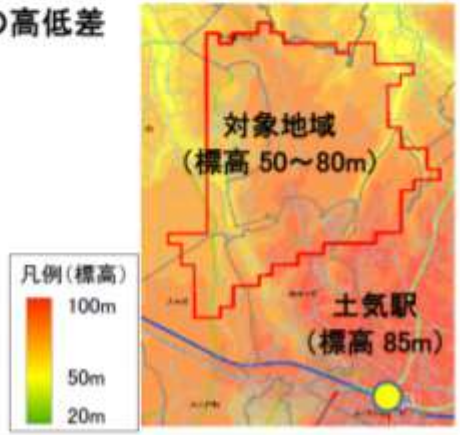
・JR 土気駅周辺に買い物（コンビニ、スーパー等）施設が立地、地域周辺に医療施設も立地。



アンケート回答者の最寄り駅までの徒歩時間



地域の高低差



1．公共交通不便地域での取組みの経緯

⑤主な移動の目的地（アンケート結果）

主な移動の目的地	・普段の買い物は最寄り鉄道駅近傍、その他の目的地は鉄道でアクセス可能な場所が多い。		
	対象地域内の施設	対象地域外の施設	
		JR 土気駅周辺の施設	鉄道でアクセス可能な施設
	普段の買い物	なし	13 件（カスミ など）	なし
	その他の買い物	なし	3 件（しまむら など）	4 件（イオン鎌取店 など）
	通院・介護等	なし	5 件（篠崎医院 など）	6 件（市立青葉病院など）

ワークショップ等実施モデル候補地としての設定（案）

設定における指標	数値	分類	候補地評価
①人口総数	約 1,600 人	上位 3 位以内	評価：A
②65 歳以上人口数	約 560 人	上位 3 位以内	評価：A
③可住地の人口密度	約 1,215 人/km2	上位 3 位以内	評価：A
④最寄り駅までの距離	概ね 2～3km	3km 以内	評価：A

候補地評価の設定（案）	総合評価 A	人口総数、65 歳以上人口数ともに多く、目的地となる駅までの距離も近いことから、市内の公共交通不便地域（14 地区）の中では評価が最も高く、モデル候補地として設定する。

モデル候補地としての設定に向けた指標分類の考え方
→評価 A が 4 つで総合評価 A、評価 A が 2～3 つで総合評価 B、
それ以外を総合評価 C とする

①人口総数、②65 歳以上人口数、③可住地の人口密度	上位 3 位以内 評価 A	4～7 位の地域 評価 B	8 位以下の地域 評価 C
④最寄り駅までの距離	3km 以内 評価 A	3～5km 評価 B	5km 以上 評価 C

1．公共交通不便地域での取組みの経緯

検討状況経緯（令和2～４年度）

	年 月	取 組 内 容
令和2年度	令和3年2月	**第4回千葉市地域公共交通活性化協議会** 公共交通不便地域における施策検討に向けた取組として、“高津戸町北部等”をモデルに地域の実情等の把握に着手することを決定。
	令和3年2月	移動ニーズ調査(アンケート)の実施
令和3～4年度	令和3年5月	住民説明会
	令和3年7月	**地元有志による協議会「交通対策協議会」(高津戸町)の設立**、第1回開催 持続可能な地域の移動手段について継続的に協議・検討
	令和3年11月	**第7回千葉市地域公共交通活性化協議会** 高津戸町における検討状況の報告
	令和4年6月	交通事業者説明会 14事業者参加 （乗用タクシー事業者、路線バス事業者、貸切バス事業者）
	令和4年7月	高津戸町内会組長会議 利用意向アンケートの実施

※地元協議会開催状況（令和3年7月～令和4年9月　実施回数：9回）

2.社会実験の運行計画案

事業者公募　仕様案

項目	主な内容
①事業形態	一般乗合旅客自動車運送事業
②運行概要	予約のあった停留所を運行する定時型の乗合タクシー
③利用対象者	事前に利用者登録を行っており、かつ1人で乗降可能な方 ※高津戸町内に住んでいる人に限定しない
④停留所、運行ルート	・ 停留所は高津戸町地区とあすみが丘市街地に設置。 ※あすみが丘市街地における施設間のみの乗降は不可とする。 ・ 停留所の掲示物の管理は運行事業者と地域住民と協働のうえ管理。
⑤運行日、便数、ダイヤ	・ 運行日　週2日(月曜日・金曜日)(※年末年始12月29日～1月3日は運休) ・ 便数　4便/日(午前1往復、午後1往復) ・ 運行ダイヤ　別途運行事業者と調整(施設滞在時間1～2時間程度を想定)
⑥運行車両、定員	・ 1便あたりの車両は、予約状況及び車両定員に応じて配車し、最大8名までの乗車に対応。 ・ 小型自動車(セダン型タクシー)を用いる場合は、助手席を含む4名を定員。
⑦運賃	大人500円/便　小学生以下250円/便　(例)大人往復利用500円×2便＝1,000円)
⑧回数券	(例)　12枚綴り(500円×12回分を5, 000円)の販売(※払戻し可能)、複数人セット割等を検討
⑨障害者割引	運賃から5割引(250円)

2.社会実験の運行計画案

事業者公募　仕様案

項目	主な内容
⑩乗降方法・制限	・ 標示のある停留所で乗降 ・ 座席に余裕があっても予約なしの乗車は不可 ・ 予約した時間に所定の停留所に利用者が現れない場合はキャンセルとみなす。
⑪運行上の注意	道路上において利用者を乗降させる場合は、車両左側（歩道側）からの乗降を基本
⑫事前登録	利用者登録票に必要事項を記載し、運行事業者に郵送・FAX・電子メールで申請。
⑬予約受付	電話予約：乗車する1週間前から前日の17時まで （受付時間：月曜日～日曜日9時～17時まで）
⑭運行記録	日報を作成し市に毎月報告
⑮運行経費	人件費、燃料費、車両維持費、諸税など運行に関わる経費全般含む
⑯委託料	・ 基本輸送費：1便あたりの単価　×　運行便数 ・ 基本管理費：オペレーター等に要する1か月あたりの運行管理費
⑰個人情報の保護	運行事業者は、利用者から得た個人情報及び市から提供される利用者の情報などについて、業務の予約受付及び運行業務以外の目的に使用してはならない。
⑱その他	交通対策協議会等で協議された内容に対しては真摯に対応すること。

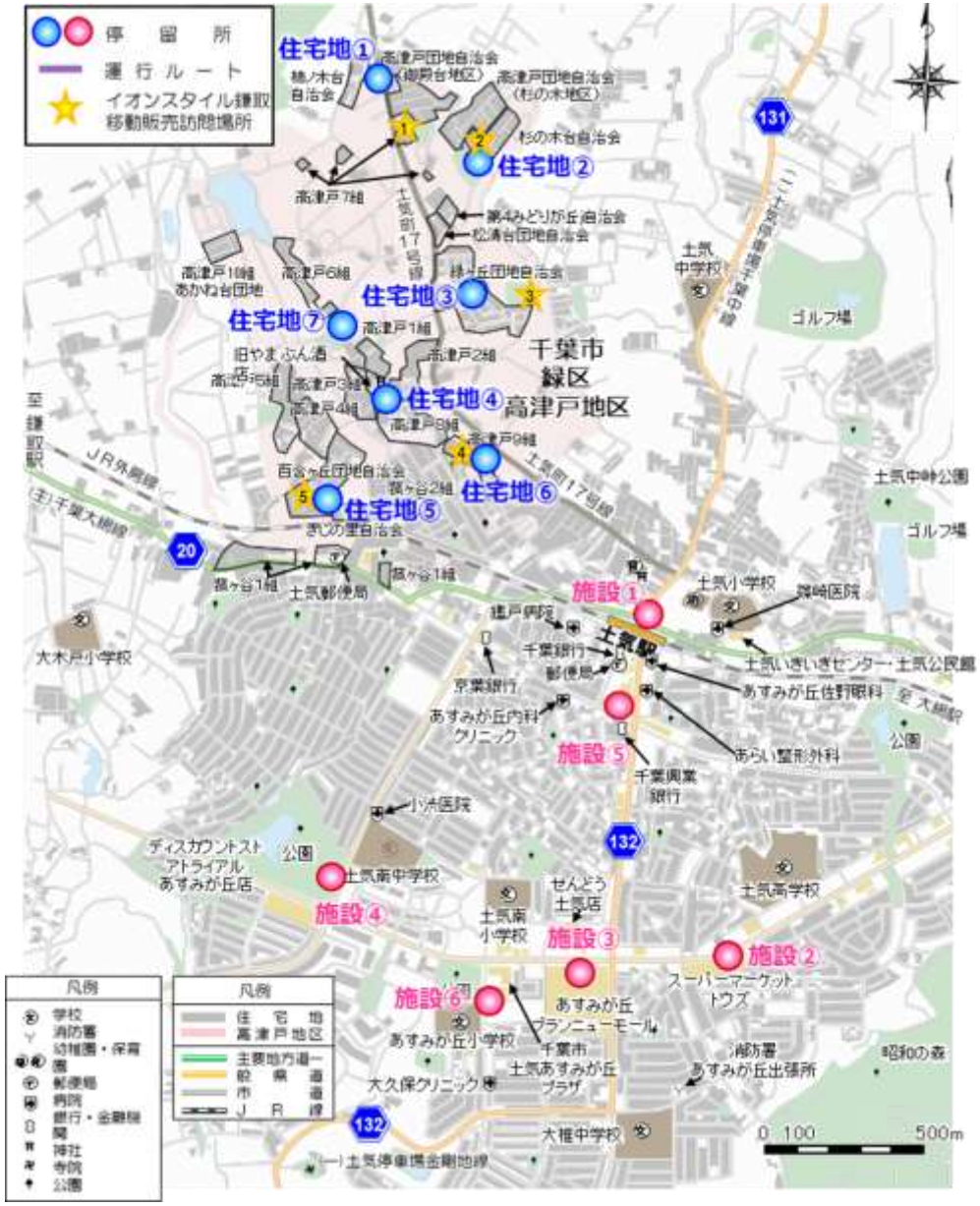
2.社会実験の運行計画

運行計画案

①運行形態　　：停留所を設定した定路線型とし、利用者からの事前予約に基づく区域運行
②走行する車両：セダンもしくはワンボックスカー
③運行する日　：週2日(月・金)
④運行数　　：1日4便
（午前:行き1便・帰り1便、午後:行き1便・帰り1便）
⑤運行時間帯　：10時頃～16時頃
⑥利用方法　　：前日17時までに電話予約が必要
予約には事前の利用者登録が必要
⑦運賃　　：500円(1便)
＊障害者・小人割引制度有り
＊回数券による割引有り
⑧その他:乗降は住宅地⇔施設、住宅地⇔住宅地に限ることとし、施設⇔施設での移動は不可とする。

住宅地 ⇔ 施設　住宅地 ⇔ 住宅地　○利用可

施設 ⇔ 施設　×利用不可



※運行内容は、交通事業者・警察・道路管理者等との協議などにより、変更となる可能性あり。
※社会実験を行いながら停留所位置の見直しやエリア拡大等を検討する可能性あり。

３.利用意向アンケート結果

アンケート概要

①アンケート実施目的
　高津戸町における新たな移動手段として、デマンド型交通の社会実験に向け具体的な運行計画の検討を進めるため、地域内の利用意向を把握すること。

②調査対象：高津戸町内会の各世帯（全４６１世帯　各２通）

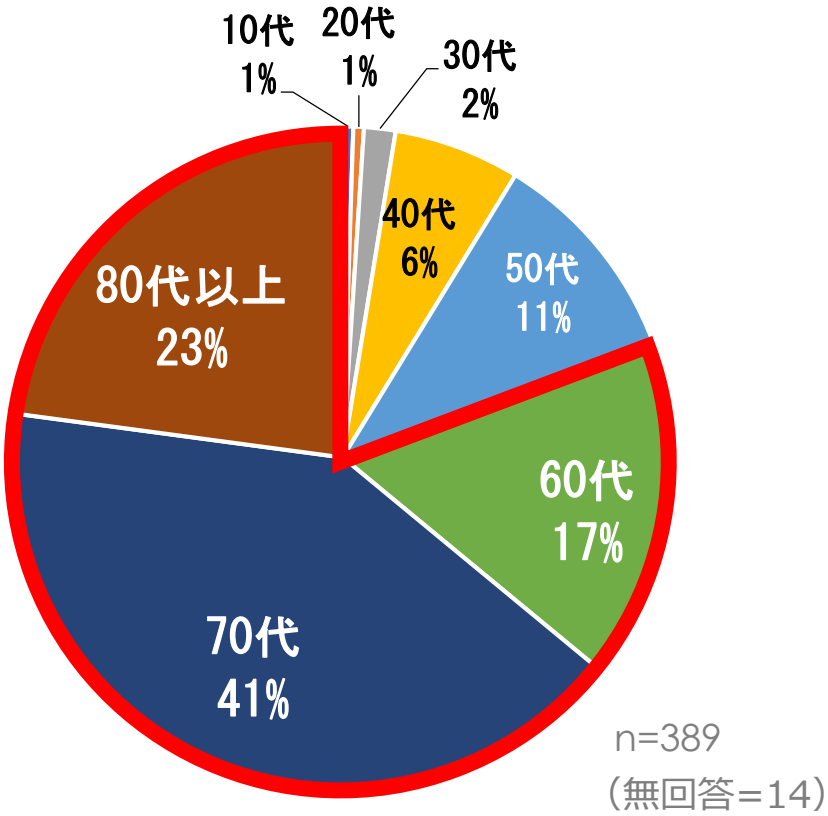
③調査方法：町内会による配布・回収

④調査期間：令和４年７月初旬～8月中旬

⑤回答数：４０３通（回収率約44%）

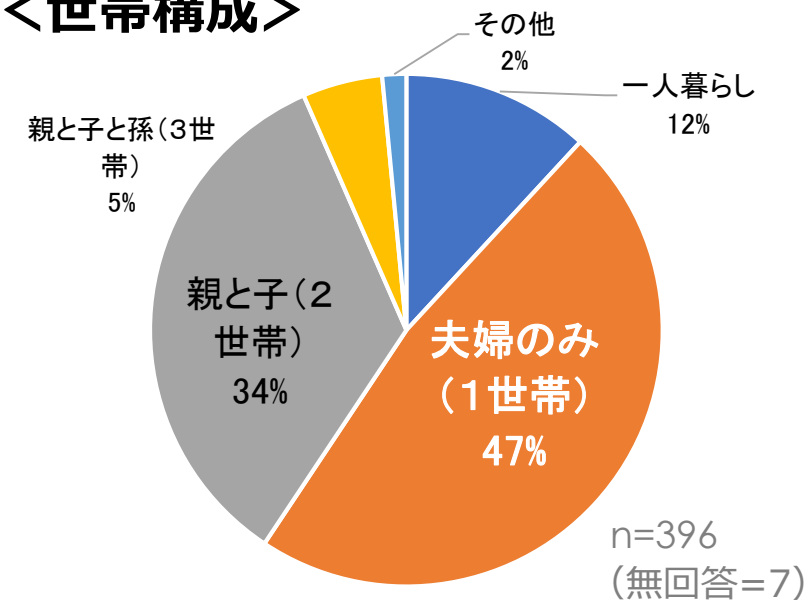
3-1　回答者の属性

＜年齢構成＞

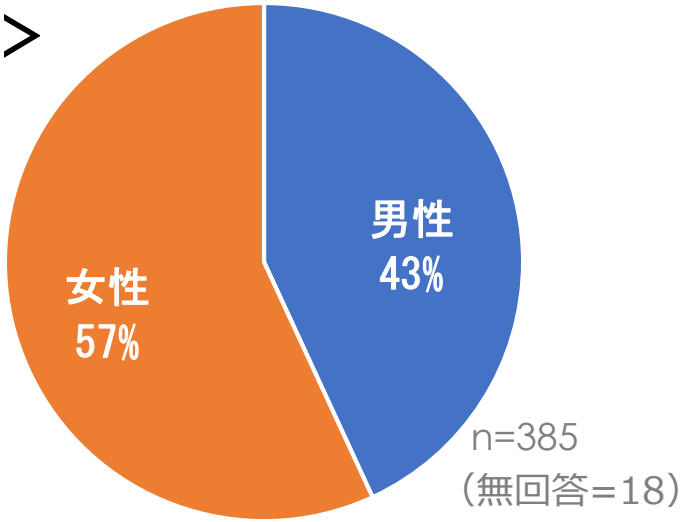


６０歳代以上の方が約8割

＜世帯構成＞

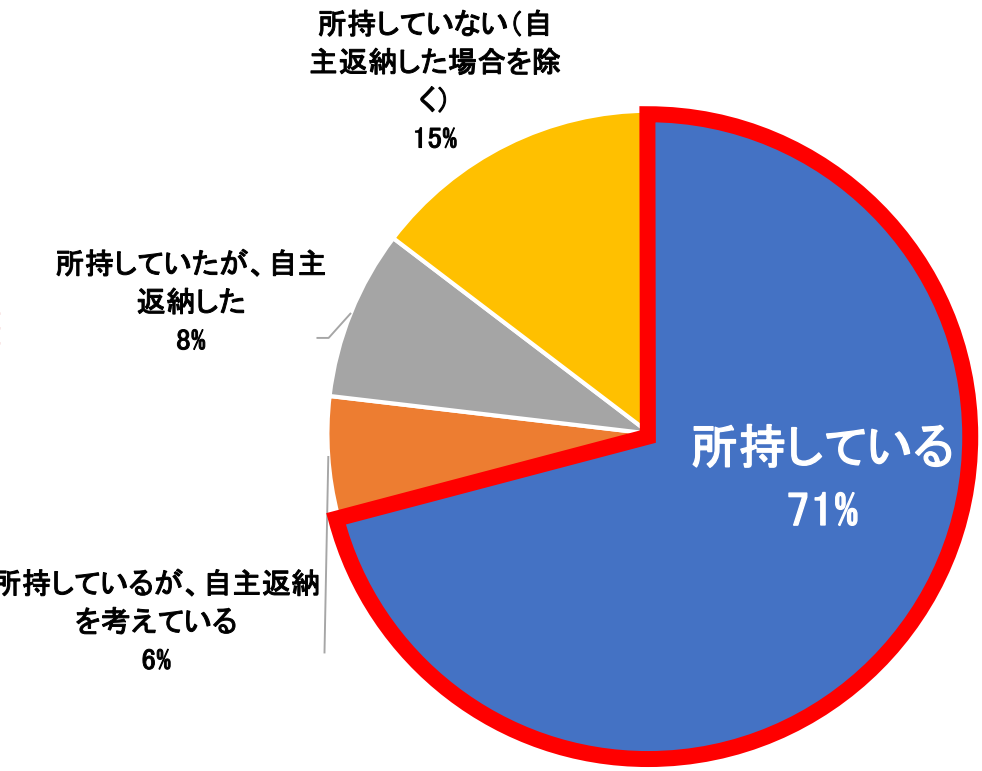


＜性別＞



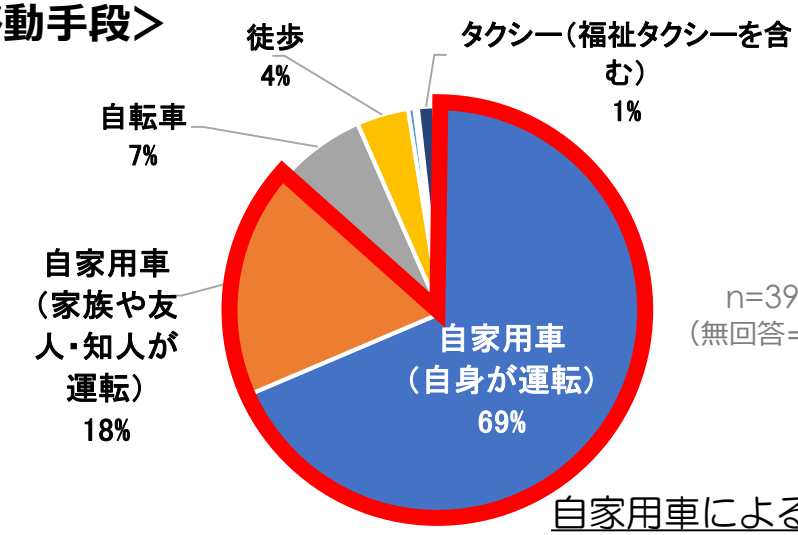
3-1　回答者の属性

＜運転免許証の所持状況＞



n=389
（無回答=14）

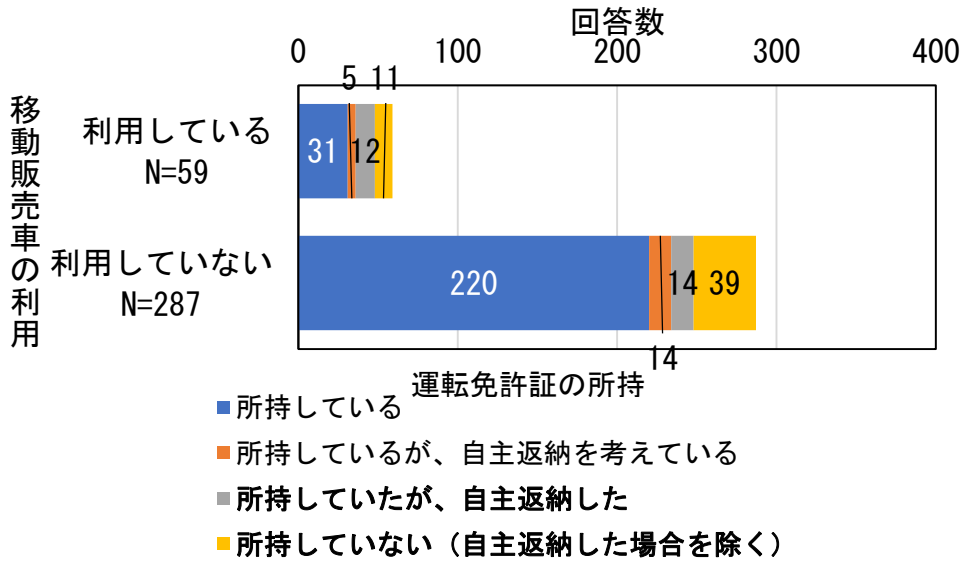
＜移動手段＞



n=395
（無回答=8）

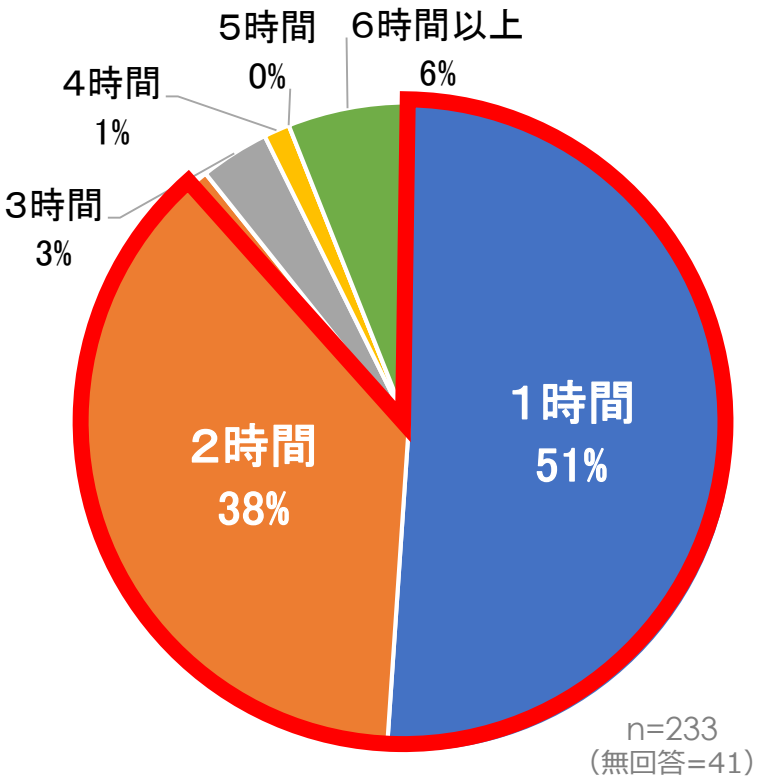
自家用車による移動の方が約９割

＜移動販売車の利用状況と運転免許証の所持関係＞



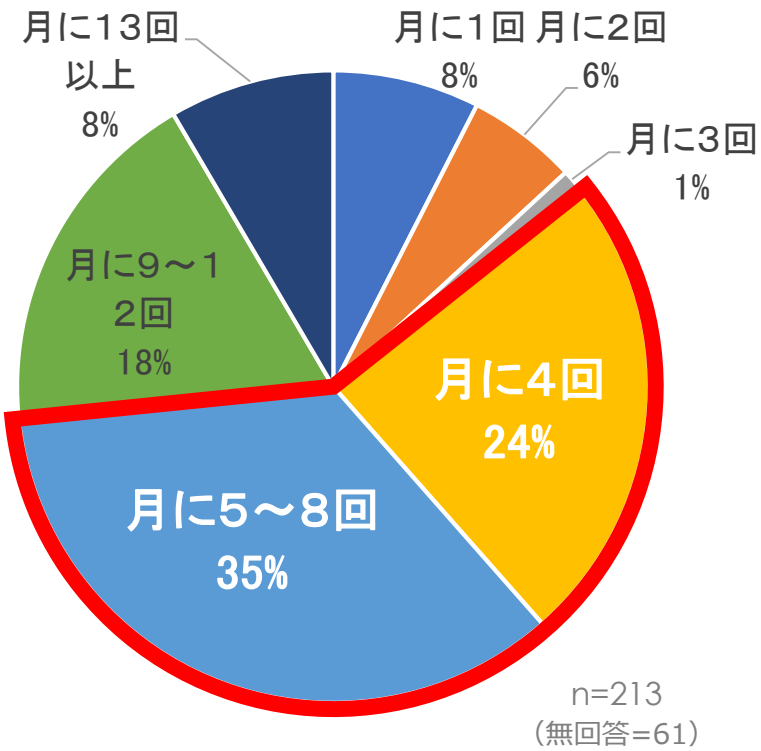
3-2.日ごろの「外出状況」について

＜外出時間（自宅～帰りの交通手段（平日）＞



1時間-２時間が約９割

＜頻度（平日）＞

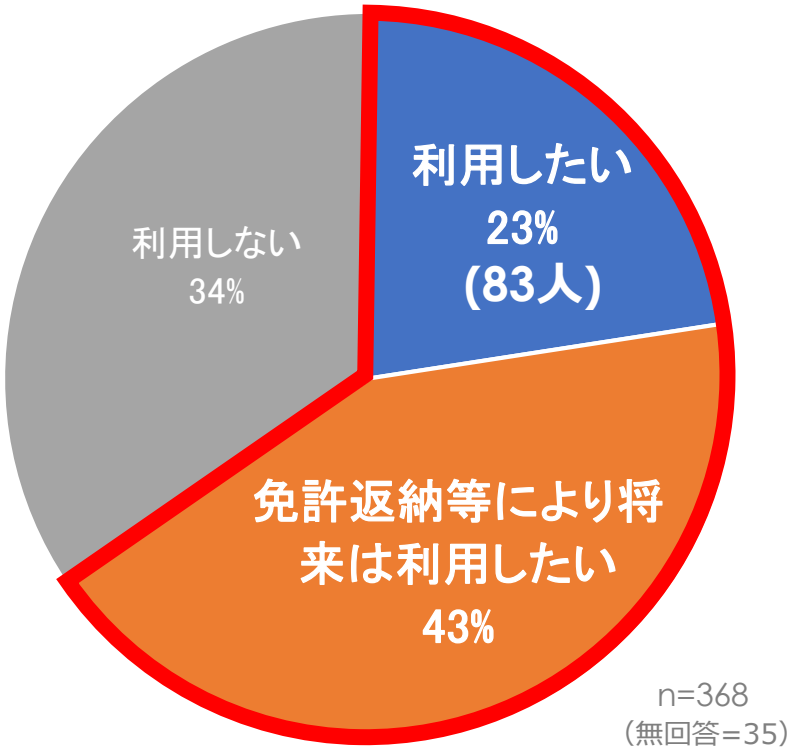


週１～２回が約６割

3-3．「デマンド型交通」への利用意向

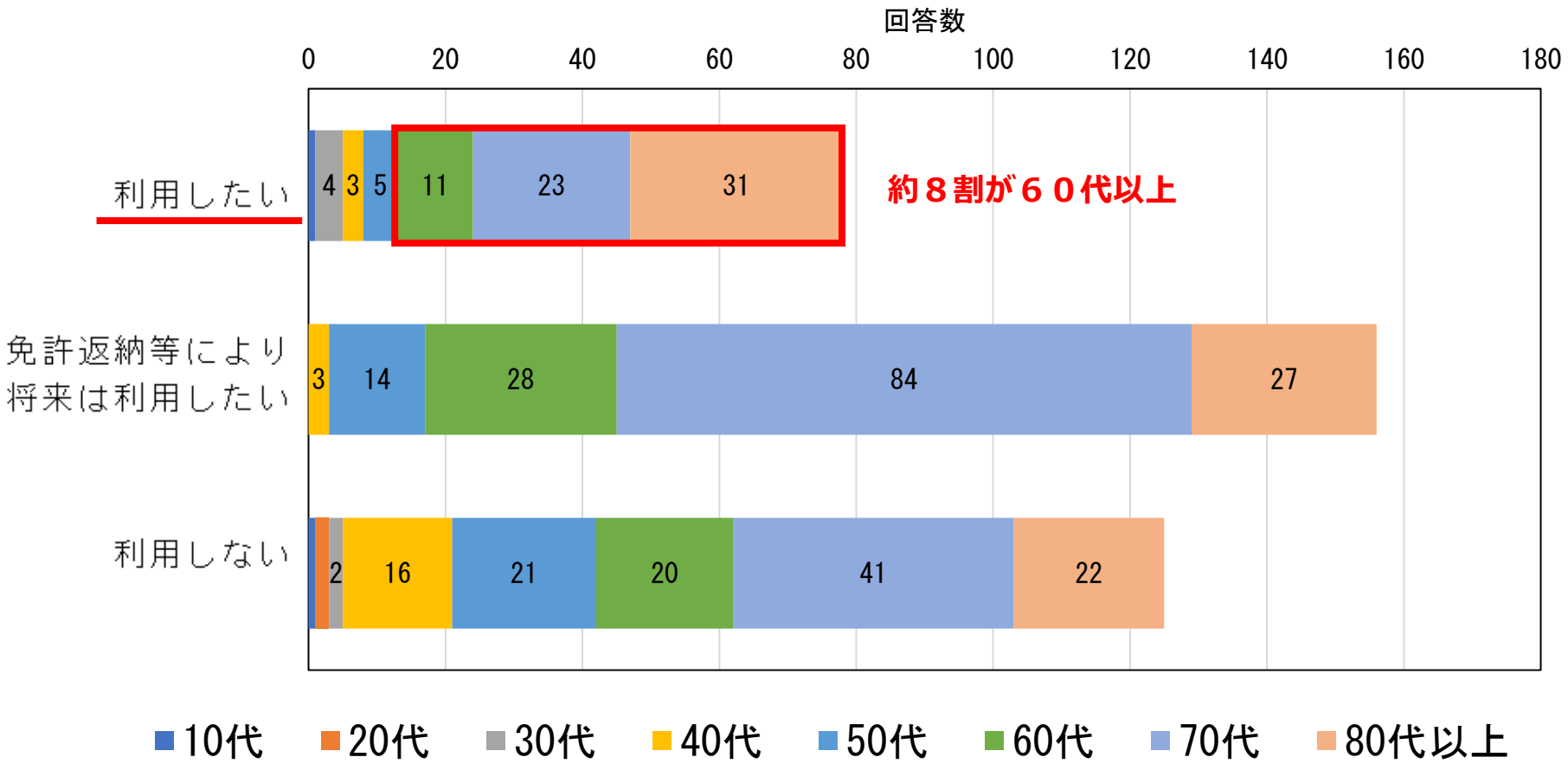
＜利用意向（平日）＞

「利用したい」と**「免許返納等により将来は利用したい」**を合わせ約７割に利用意向あり



3-4．「デマンド型交通」への利用意向

＜利用意向（平日）と年齢の関係＞

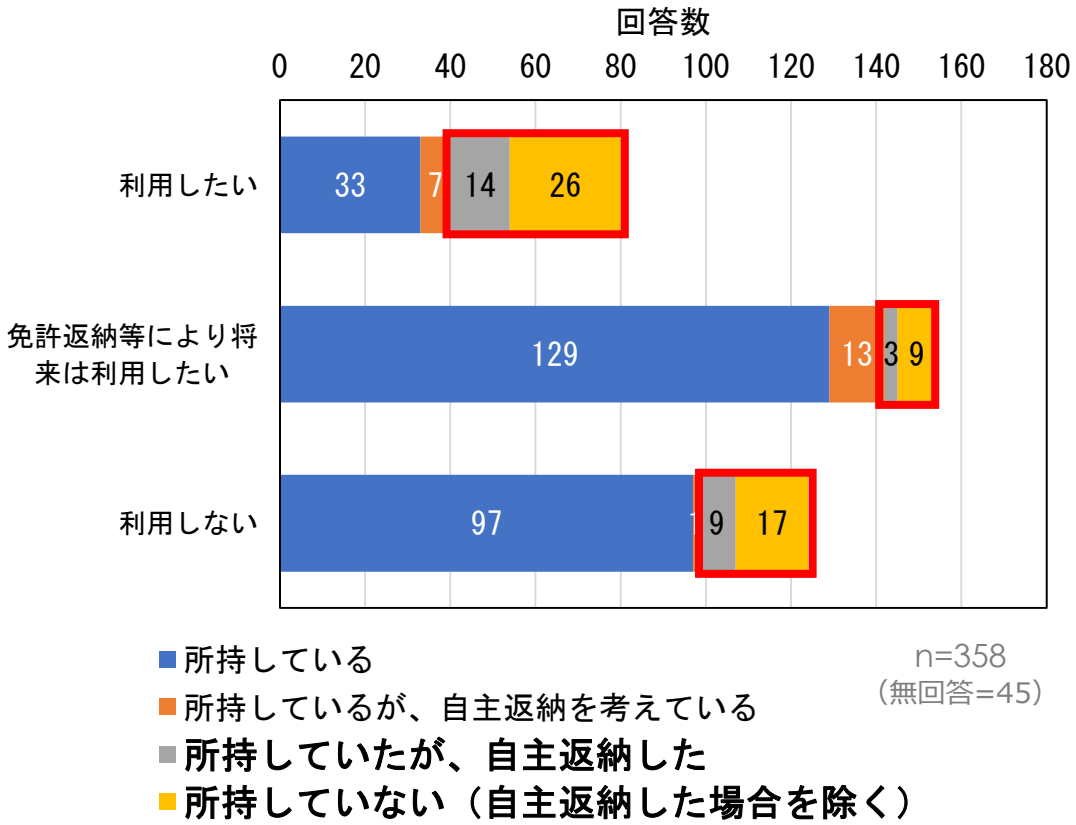


n=359
（無回答=44）

3-4．「デマンド型交通」への利用意向

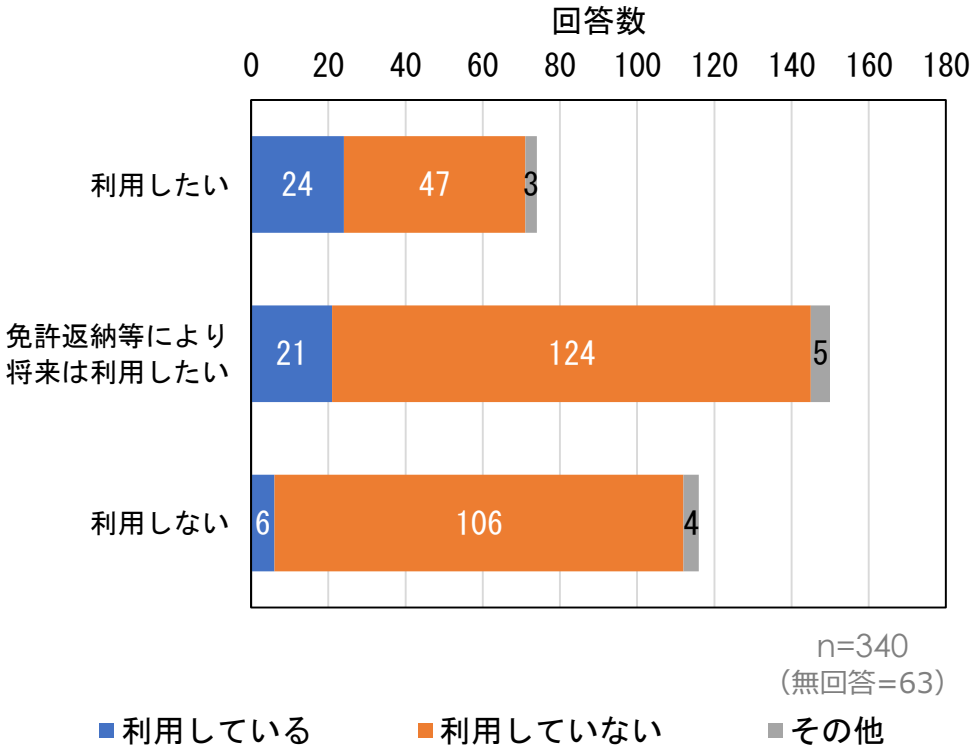
＜利用意向（平日）と免許所持状況の関係＞

- 「利用したい」と回答した人のうち、**免許未所持者は約５割**。
- 「将来利用したい」「利用しない」と回答した人の中にも３８名が免許未所持者。



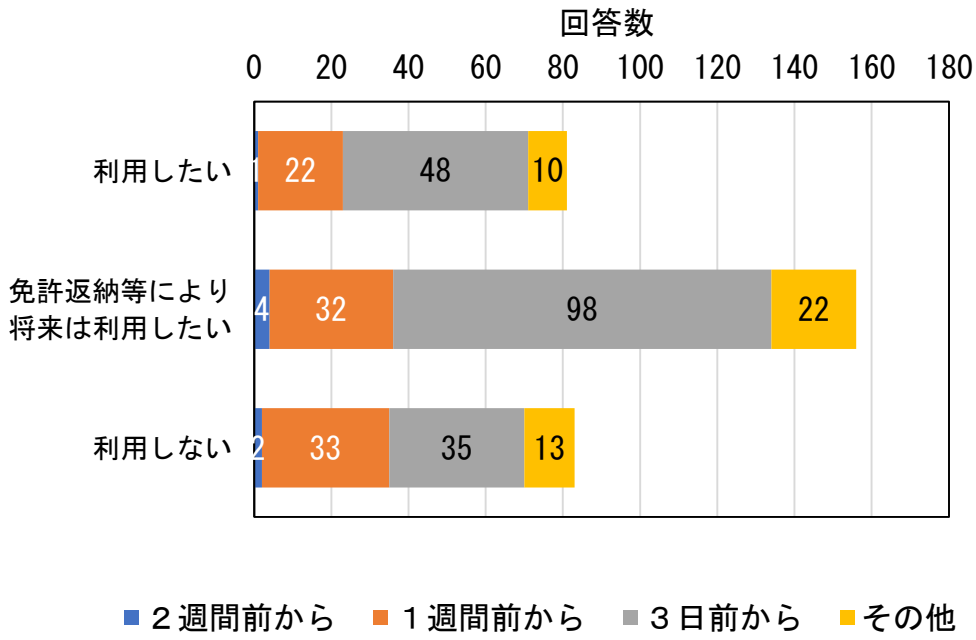
＜利用意向（平日）と移動販売車の利用の関係＞

移動販売車を利用している人の割合が最も多いのは、「利用したい」と回答した人のうち約３割。



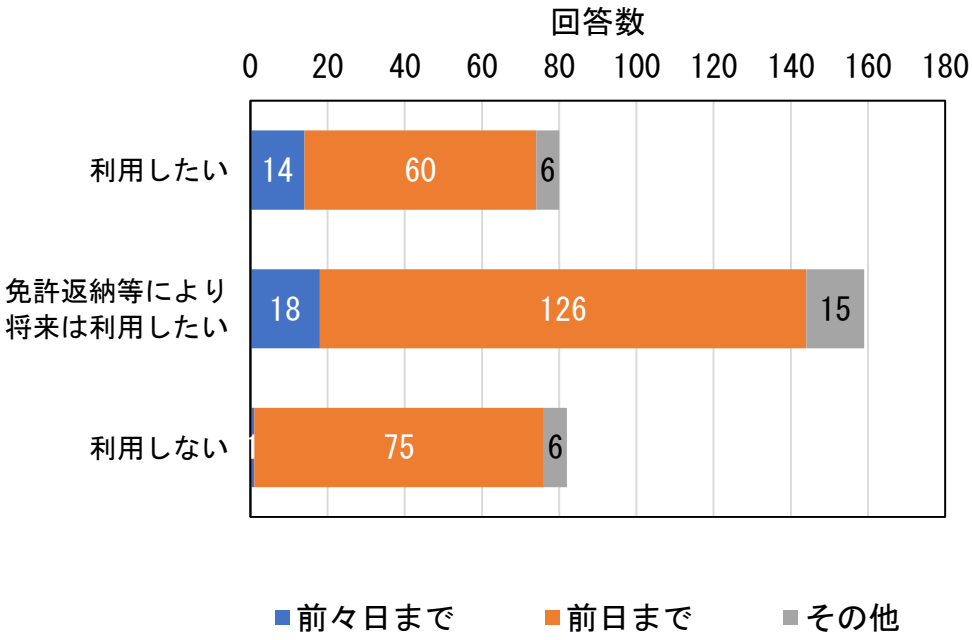
3-5. 予約に関する質問

＜乗車日のどのくらい前から予約開始できるとよいか＞



n=320
（無回答=83）

＜予約受付の締め切りは、どのくらいがよいか＞



n=319
（無回答=84）

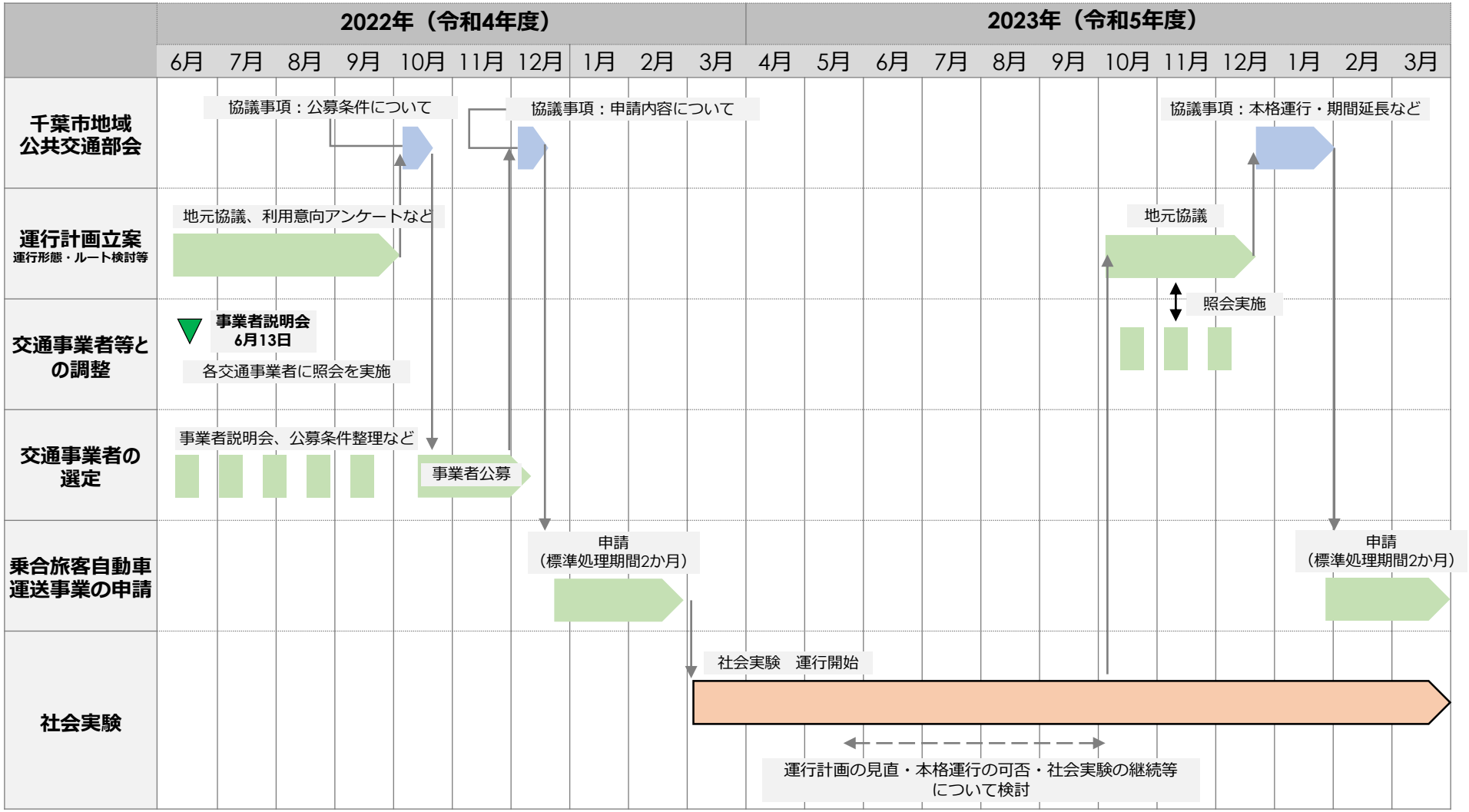
４.公募評価基準案

プロポーザル方式評価項目

No	評価項目	内容
1	安全運行に対する取組み	運行の安全性に対する具体的な取組みについて
2	不測の事態への対応	車両故障事故など、不測の事態が発生した際の具体的な対応方法について
3	乗務員に対する指導	乗務員に対する指導・教育体制は整っているか
4	運行体制	運行管理体制は適切か、車両保有台数は適切か
5	重大事故の履歴	過去５年間における重大事故の発生の有無・状況について
6	行政処分等	地方自治法167条の４（暴排法、破産手続きなど）
7	受注実績	過去５年間の自治体からの運行等業務の受注実績について
8	利便性の向上、合理的な運行	運行管理システムの導入や配車管理などは合理的か
9	本業務に対する受注意欲	本業務の趣旨、内容を理解し、熱意を持って取り組む意欲はあるか
１０	サービスの向上	高齢者等への配慮・対応方法は具体的か

5.今後のスケジュール

➢令和４年度末頃から社会実験を開始予定（令和５年度末頃までの運行を想定）



※ 社会実験期間のモニタリング結果受け、エリアの拡大や本格運行への意向などを検討。

※ 次回地域公共交通部会（予定）　令和4年12月20日（火）ＡＭ　（内容：運行計画案について）

5.今後のスケジュール

➢運行継続の可否を検討するにあたり、判断基準について今後検討

分類	判断基準	概要	自治体の事例
収支、運行経費に係る指標	①収支率	運行経費に対する、収入の割合 ※経費には自治体等から補助も含む	千葉県富津市 静岡県伊豆市 他多数
	②補助額	自治体から補助金の上限額	千葉県富津市
利用実態に係る指標	③平均利用者数、１運行あたり輸送人員等	・１運行に対する利用者数 （輸送人員÷運行回数） ・1日あたりの平均利用者数　等	千葉県富津市 佐賀県佐賀市 山形県村上市 他多数
	④乗車率	・運行便数×定員に対する利用者数の割合	東京都八王子市
	⑤稼働率、予約率	・運行ダイヤに対し、実際に運行した割合 ・運行ダイヤに対し、予約があった便数の割合	佐賀県佐賀市 静岡県伊豆市 神奈川県相模原市
地域の実情に応じた指標	⑥満足度	・利用者の満足度（アンケート）	山形県村上市、 沖縄県北谷町
	⑦地域交通の質的変化	・高齢者の外出回数の増加 ・観光周遊性の向上	沖縄県北谷町